



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第45号

平成22年4月21日

河津町議会だより



新しく導入された町のマイクロバス「伊豆の踊り子号」

主な内容

●第1回定例会	2 P
●予算審査特別委員会、臨時会	3 P
●町長の施政方針、行政報告	4～5 P
●議案説明	6～7 P
●一般質問	8～9 P
●一部事務組合議会報告、視察調査報告	10～11 P
●議会の動き、私も一言、編集後記	12 P

平成22年 第1回定例会 (要旨)

3月9日より17日まで9日間の会期で開かれた第1回定例会は、町長の施政方針と行政報告につづき、2名が一般質問を行いました。議会は平成22年度予算10議案、21年度補正予算8議案、人事案件1議案、条例の制定、改正、廃止5議案、指定管理者の指定2議案、単行決議2議案、町道路線の変更1議案、の29議案を審議し、22年度一般会計予算を除き、原案可決、承認しました。22年度一般会計予算については一部修正の上可決、承認しました。なお、22年度予算は予算審査特別委員会で審議され、5項目の意見を附帯しました。

可決された平成22年度予算 (単位：千円)

○一般会計予算	3,436,000
○河津駅前広場整備事業特別会計予算	5,768
○河津町土地取得特別会計予算	539
○河津町国民健康保険特別会計予算	1,238,436
○河津町老人保健特別会計予算	7,916
○河津町介護保険特別会計予算	677,781
○河津町後期高齢者医療特別会計予算	85,078
○河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計予算	9,062
○河津町水道事業会計予算	331,251
○河津町温泉事業会計予算	115,563

可決した21年度補正予算

○一般会計補正予算(第9号)	○国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出……………33,314千円減額	歳入歳出……………2千円追加
総額……………4,086,512千円	総額……………10,825千円
○国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○水道事業会計補正予算(第4号)
歳入歳出……………5,973千円減額	資本的収入……………9,870千円減額
総額……………1,272,053千円	資本的収入総額……………65,130千円
○老人保健特別会計補正予算(第3号)	資本的支出……………15,900千円減額
歳入歳出……………10,000千円減額	資本的支出総額……………112,926千円
総額……………17,365千円	○温泉事業会計補正予算(第3号)
○介護保険特別会計補正予算(第5号)	資本的支出……………8,500千円減額
歳入歳出……………3,733千円追加	資本的支出総額……………181,694千円
総額……………683,640千円	
○後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
歳入歳出……………10,000千円減額	
総額……………85,441千円	

予算審査特別委員会

予算審査特別委員会(委員長 萩原清男)は平成22年度予算10件について、11日、12日、15日、16日と4日間審査にあたりました。

予算審査特別委員会

委員長…萩原清男

委員…吉田重好、稲葉 静、宮崎啓次、山田 勇、相馬宏行、土屋衆太郎、
山本和之、中村 聡、飯田正臣、白井市太郎

予算審査特別委員会の意見

1. 河津駅北口広場基本構想策定については利便性を考慮して進められたい。
2. 滞納額が増えている。税の徴収体制の強化を図られたい。
3. 共立湊病院の下田移転計画は進行中である。高度医療の充実のため広域行政で一層推進されたい。
4. 観光施設整備事業(南禅寺周辺・笹原城址)は地元と十分協議調整をされたい。
5. (株)河津バガテル公園の経営が年々悪化している。フランスとの提携見直し等含め、改善計画を議会に示されたい。
6. 各地区への事業公約は公表の前に議会へ説明されたい。

平成22年 第1回臨時会

1月13日に開かれた第1回臨時会は以下の議案を可決しました。

- ・議案第1号
静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
- ・議案第2号
平成21年度河津町一般会計補正予算(第6号)

第2回臨時会

1月26日に開かれた第2回臨時会は以下の議案を可決しました。

- ・議案第3号
平成21年度河津町一般会計補正予算(第7号)

第3回臨時会

2月16日に開かれた第3回臨時会は以下の議案を可決しました。

- ・議案第4号
平成20年度河津町一般会計補正予算(第8号)

町長の施政方針及び行政報告



施政方針

平成22年度当初予算

一般会計当初予算、34億3,600万円、前年比2億2,600万、6.2%減、2年連続で減額。国の緊急対策事業として、きめ細かな臨時交付金活用で、実効性のある予算編成を行う。歳入は、町税前年比6.5%減、自主財源は1億7,135万円、前年比12.2%減、交付金は同額もしくは減額、普通交付税は増額計上した。国庫支出金は、子供手当負担金による増、県支出金は、29.3%の減、町債は22.8%の減、依存財源全体で5,464万5千円、前年比2.4%減となる。歳出は人件費9.1%削減義務的経費は、5,763万3千円、前年比4.1%増、経営的経費は8,189万8千円、前年比2.9%増。投資的経費全体では3億2,098万9千円、前

年比56.2%減となる。普通建設事業は、道路整備事業、河津城址復元、南禅寺等の文化財整備他、福祉事業は、医療費扶助の拡充、出産助成等。

平成22年度主な事業

○総務関連事業

退職予定者は7名、新規採用、3名予定、4名の削減。公共交通関係は、泉奥原、大鍋、小鍋、上佐ヶ野で試験運行予定。地上デジタル放送設備は見高入谷、長野、梨本地区対象に整備。河津駅北口広場は利便性の向上と活性化を図り整備を検討。

○保健福祉課関係事業

月額13,000円を中学生まで支給。医療費も中学校卒業まで無料化。出産助成金10万円支給、保育ママ事業の拡充や子育て支援、同等の支援事業の推進、ゴミ不法投棄物撤去防止事業で3名の作業員の雇用。

○産業振興課関係事業

森林整備事業の支援。観

光施設整備事業は、城山公園山頂整備。田中バイパスへ河津桜植樹帯整備、首都圏への観光PR、観光ボランティアの充実、新事業でパークアンドライド推進事業実施。

○建設課関係事業

県単農業農村整備事業、梨本、大堰地区の用排水路整備、見高入谷の山地整備中山間地域整備調査を見高入谷、上佐ヶ野地区で行う。道路改良工事は、町道荻ノ入2号線改良工事、270m実施、県道農免農道4期地区整備、3,900万円完了予定。県営治山事業は梨本地区山腹工事保安林、保全工事により谷止工2基工事予定。県営の土木関係工事は、国道414号逆川地区工事予定。下佐ヶ野谷津線の歩道整備790mの測量、用地買収に入る。田中バイパスは今年、来年度で橋梁上部工を施工する。県道河津下田線は、縄地地区で現道拡幅工事400mを順次用地買収を行い工事を実施していく。湯ヶ野、松崎線は県単事業で大鍋地区の拡幅工事予定。砂防事業は、大堰地区桃の木沢の砂防ダム整備、梨本地区荻

ノ入沢砂防事業は設計測量実施予定。水道事業は泉奥原地区に250tタンク設置と1kmの送水管工事を予定。

○教育委員会関係事業

小学校での外国語活動の予算計上。学校施設の整備は、東小学校のヤシの木伐採、西小学校は、フェンスの修繕、南小学校は体育館天窓工事、中学校は給食リフトの改修。中学校入口の町営バス停留所に雨除けの屋根設置、体協30周年記念事業の費用助成、中学校グラウンドのバックネット修繕工事他。

行政報告

●風力発電関係

東京電力(株)と(株)ユーラスエナジー東伊豆が計画、保安林、分収林関係についても協議が進められている。見高財産区とも協議中である。財産区有地処分についても、県と協議。

●消防関係事業

本年度ポンプ車の購入は、第11分団、第7分団の2台。

●戸籍の電算化事業

行政サービスの向上、迅速化を図るため、コンピュー

ターによる業務開始。

●上河津診療所の状況

1月12日開院し週2日の診療、2月末までの受診患者数155人、外来145人。平成22年度中には、上河津地区に新たな診療所の整備予定。

●河津桜観光交流館

平成22年2月1日オープン、2月1日から2月28日までの1ヶ月間売店利用者、28,557人、飲食コーナーは、6,293人、展示室見学者は、4,339人。

●河津ツーデーマーチ

12回目を迎えた今大会は2日間で1,159人参加。昨年より683人減、各種運営にご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

●第20回河津桜まつり

2月6日から、3月10日まで約1ヶ月間の運営については、ボランティアをはじめ多くの皆様の協力に感謝と敬意を申し上げます。入込み人数は、100万人に達する見込みである。

●国際交流

副町長を団長に5名で国際交流調査に中国東山鎮を訪問した。今後の相互の友

好を築くことが重要。

●建設関係工事入札結果

臨時交付金事業で町道見高入谷1号線工事を山内組が375万9千円、町道奥原1号線工事を世紀東急工業(株)が252万円で、町道川津筏場久保田線工事を守屋建設が40万9,500円、準用河川鍛冶沢川工事を(株)大塩組が386万4千円で、町道逆川下山前田線工事、田尻川工事を斉藤土木(株)が63万円及び512万4千円で落札し契約した。普通建設工事は町道浜中耕地・上川原田線工事は(有)加畑組が215万2,500円で落札し契約した。町道上峰線工事を斉藤土木(株)が523万9,500円で、見高2号線工事を山内組が122万8,500円で落札し契約、見高入谷1号線舗装及び町道大堰線舗装工事を丸三工業が、567万円及び151万2千円、縄地線舗装工事、浜下小路線舗装工事を世紀東急工業(株)伊東営業所が341万2,500円及び472万5千円で落札、契約。

●教育委員関係工事入札

臨時交付金でさくら幼稚園太陽光発電工事を(株)大塩組が2,604万円で落札、契約。南小校舎屋上改修工事、設計、監理を萩原設計と126万円で契約。

委員の推薦、条例の制定、一部改正、補正予算、当初予算

◎諮問第1号

人権擁護委員の推薦

梨本28の1

坪井由里子（2期目）

生年月日 昭和30年3月6日

◎議案第5号

河津町情報通信施設の設置、
管理条例の制定について

河津町情報通信施設の設置
及び管理に関する条例の制
定

◎議案第6号

河津町地上デジタル放送設
備運営基金条例の制定につ
いて

河津町地上デジタル放送設
備運営基金条例の制定

◎議案第7号

河津町職員の勤務時間・休
暇等に関する条例等の一部
を改正する条例について

河津町職員の勤務時間・休
暇等に関する条例の一部改
正

◎議案第8号

河津町特別職の職員で非常
勤の者の報酬及び費用弁償

に関する条例の一部を改正
する条例について

河津町特別職の職員で非常
勤の者の報酬及び費用弁償
の一部改正

◎議案第9号

河津町立学校給食センター
建設基金条例廃止する条例
について

河津町立学校給食センター
建設基金条例廃止

◎議案第10号

今井浜の休憩所の指定管理
者の指定について

河津町観光協会と3年間の
更新

◎議案第11号

デイサービス施設の指定管
理者の指定について

河津町社会福祉協議会と3
年間の更新

◎議案第12号

平成20年度河津町地上デジ
タル放送設備工事変更請負
契約について

契約金額を4,024,650円減額
変更する

◎議案第13号

平成21年度町道奥原1号線
道路拡幅工事変更請負契約
について

契約金額を4,012,050円増額
変更する

◎議案第14号

町道路線の変更認定につ
いて

◎議案第15号

平成21年度河津町一般会計
補正予算（第9号）

歳入歳出それぞれ33,314千
円を減額し歳入歳出それぞ
れ4,086,512千円とする。

◎議案第16号

平成21年度河津町国民健康
保険特別会計補正予算（第
2号）

歳入歳出それぞれ5,973千円
減額し歳入歳出それぞれ
1,272,053千円とする。

◎議案第17号

平成21年度河津町老人保健
特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ10,000千
円減額し歳入歳出それぞれ
17,365千円とする。

◎議案第18号

平成21年度河津町介護保険
特別会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ3,733千円
追加し歳入歳出それぞれ
683,640千円とする。

◎議案第19号

平成21年度河津町後期高齢
者医療特別会計補正予算
（第1号）

歳入歳出それぞれ10,000千

円減額し歳入歳出それぞれ
85,441千円とする。

◎議案第20号

平成21年度河津町国民宿舎
「かわづ」運営事業特別会
計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ2千円を
追加し歳入歳出それぞれ
10,825千円とする。

◎議案第21号

平成21年度河津町水道事業
会計補正予算（第4号）

◎議案第22号

河津町温泉事業会計補正予
算（第3号）

◎議案第23号

平成22年度河津町一般会計

予算

◎議案第24号

平成22年度河津町駅前広場
整備事業特別会計予算

◎議案第25号

平成22年度河津町土地取得
特別会計予算

◎議案第26号

平成22年度河津町国民健康
保険特別会計予算
予算の概要（抜粋）

◎議案第27号

平成22年度河津町老人保健
特別会計予算

◎議案第28号

平成22年度河津町介護保険
特別会計予算

◎議案第29号

平成22年度河津町後期高齢
者医療特別会計予算

◎議案第30号

平成22年度河津町国民宿舎
「かわづ」運営事業特別会
計予算

◎議案第31号

平成22年度河津町水道事業
会計予算

◎議案第32号

平成22年度河津町温泉事業
会計予算

主な平成22年度新規事業と予算

○太陽光発電システム設置
事業補助金

..... 3,000千円

○合併浄化槽設置事業補助
金

.....42,572千円

○子ども医療費扶助事業

.....27,978千円

○出産助成事業

..... 8,000千円

○子ども手当給付金

..... 122,200千円

○地上デジタル放送設備接
続補助事業

..... 5,250千円

○町道荻ノ入2号線道路拡
幅事業

.....70,000千円

○谷津地区観光施設整備事
業（南禅寺）

..... 9,850千円

○踊り子歩道改良事業

..... 4,000千円

○河津城址復元整備事業

.....19,583千円

○著名地点誘道案内標識整
備事業

.....33,500千円

○河津桜植樹帯整備事業
（田中地区）

..... 7,630千円

○河津桜並木整備事業
（笹原地区）

.....16,000千円

○下田地区消防組合負担金

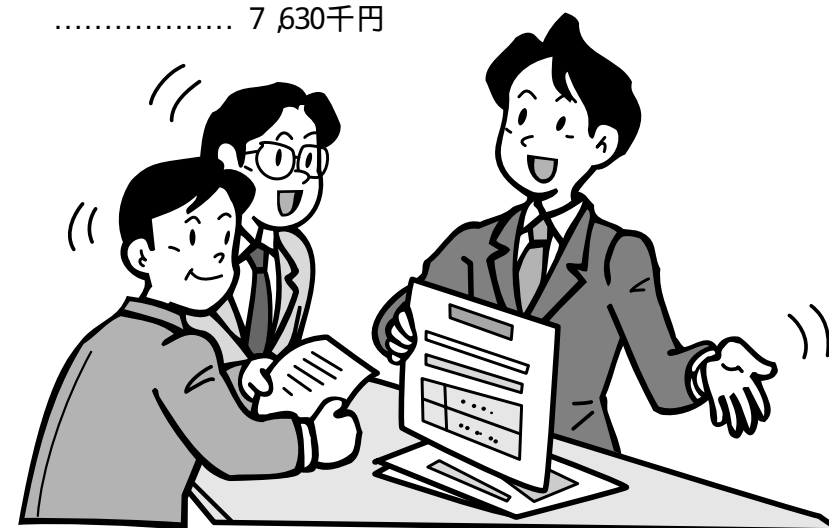
..... 144,500千円

○東河環境センター負担金

..... 224,380千円



道路整備事業奥原1号線（入口）



一般質問

共立湊病院新築計画は予定通り開設できないか

町長－指定病院が辞退したので開業は遅れるのでは

質問...共立湊病院建設の現在の進捗状況は。

町長...平成23年3月末で地域医療振興協会の管理委託期限が切れる。新たに医療法人聖勝会が決めたが、その後辞退された。私は協会が委託先と思っていたが、市町長の運営委員会を開き内容を聞いた。振興協会へ新病院ができるまで引き続き診療するよう要請している。

質問...組合が一つになり建設を進めるよう申し上げてきたが町民の命を守るには高度医療を充実させないといけない、地域医療振興協会も委託管理申請すべきである。

町長...私は河津が適地だと思う。協会と話し合い河津への病院建設に取り組む。

質問...県が災害拠点病院に指定した下田市へ共立病院

が建設されてもやるのか。町長...河津町は災害拠点病院ではない。協会の理事長とベッド数を確保できた時点で発表する。

質問...下田へ病院が出来ても出来なくてもやるのか。河津町も一部事務組合の一員である。私立病院を開設するのか公立か、議会に諮るべきではないか。病院組合を離脱して進めるべきで順序がある。

町長...場所も決らぬうちに病院開設の協議はできない。



共立病院予定地

東京へ農産物販売の拠点は

町長－効果あるか調査したい

質問...産業経済活性化連絡協議会の活動内容は

総務課長...協議活動はふれあいまつり他事業の協力や江東区、渋谷区広場への参加や賀詞交歓会等である。

質問...この協議会は異業種

で産業振興に努める事でスタートしたが、後継者育成が必要ではないか。又、賀詞交歓会ではどの団体も不景気と悩んでいたこの対策は

町長...経済不況は全国的なものだ。伊豆は一つになり活性化に取り組むべきで、道路網の整備や観光圏構想を期待したい。

総務課長...事務局どうし話



土屋 衆太郎 議員

し合いしているが後継者育成は必要である。

質問...東京へ特産物販売の拠点を設立し、東京の河津会へ協力要請したらどうか。

町長...東伊豆町で実施している。効果あるか調査したい。

行政連絡員の職務は

総務課長－町政の連絡周知等

質問...行政連絡員の職務は。総務課長...町政の連絡周知、町事業を円滑に進めるための協力、回覧の配布等である。

質問...規則では厳正に公平公正で知り得た秘密を漏らしてはならないとあるが、町長選には有権者への投票要請しているようだ。町の指導は各種委員会も圧力をかけてはいけないが。

副町長...事務取扱い要請に沿って行っている。

質問...任命者に内容知らせ文書での指導すべきだ。

副町長...連絡員の職務に沿って行動していると思うが委嘱時に注意している。

新年度予算の主な事業、特徴は

町長－15歳まで通院、入院費無料！出産祝い金制度

質問...昨年9月、国の補正予算による経済危機対策として1億4,500万円余りが配分され、幼稚園の太陽光発電、第7分団の消防ポンプ車更新、地デジ対応テレビの更新、児童公園の遊具の更新、公用車の更新等全額国から配分の事業だが、新年度予算の特徴は。

町長...健康づくり、環境対
今後の
雇用対策の方針は

町長－道路が良くなり田方方面の通勤圏

質問...二年前、ある大手のノウハウを持った民間企業がバガテル公園を引き受ける話を町長に進言したが、実現しなかった。任期中に雇用対策について、どのような施策を講じてきたか。

町長...国民宿舎、観光センター、温泉会館、バガテル公園等臨時雇用含め確保し

策、観光面の対策、自然資源を利用した町の活性化に取り組む。15歳までの通院、入院費を全額町で負担。出産祝い金制度である。

質問...選挙戦を控えて、色々おいしい事業が組まれているような気がする。南禅寺はもっと以前に整備すべき、笹原城址復元整備の内容は。

町長...谷津区の皆さんが積極的な意向であれば、もっと積極的に予算化する。

産業振興課長...今設計段階、城の周りを砦のような塀を作り、今までの資料を基に米蔵等の倉庫関係を整備する。広場には相撲をとる土俵を設置する。

町長...河津桜祭り対策でも約70人位、1ヶ月間ごみ掃除から駐車場の警備等ある。

質問...今後の雇用対策の方針は。

町長...道路が良くなれば田



宮崎 啓次 議員

方方面の通勤圏に入る。駿河湾環状道路の早期開通と中央道の無料化、縦貫道の完備である。

町有施設の状況は

産業振興課長－厳しい、対策指導していきたい

質問...風土の森、上佐ヶ野の森林セラピーロード、見高入谷宿泊施設の利用状況、管理体制、運営状況は。

産業振興課長...風土の森、森林セラピーロードは利用は把握していない。桜の被害が非常に厳しい。高木にし、シカ対策をとりたい。

入谷の宿泊は2月末で247人。ネット予約が多い。

質問...宿泊施設9月から2月まで稼働率が0%、4.3%、2.2%、18.3%、15%、17.9%である。田舎暮らしの体験の滞在型をターゲットにするのも一つでは。

産業振興課長...農作業が出来たり付加価値を付ける事が重要、指導していく。



見高入谷宿泊施設

一部事務組合議会報告

共立湊病院組合議会

2月11日全員協議会が開かれ、百条調査委員会（山田直志委員長）の中間報告があり、3月中には結論が出るであろうとの報告があった。

2月19日に定例会が開かれ、山田昭男議員が「今後の病院運営について」一般質問を行った。議案1号、静岡県市町総合事務組合の規約変更。議案2号、平成21年度補正予算（第3号）、議案3号、平成22年度事業会計予算。議案4号、平成22年度介護老人施設特別会計予算を議決した。その他、湊病院将来構想調査特別委員会の期限の延長要求、調査特別委員の中間報告があり閉会。

南高跡地は現在一部事務組合の所有になったが指定管理者がなく、現在探しているとの事であった。

伊豆斎場組合議会

2月17日平成21年2月定例議会が下田市で開かれた。行政報告、専決処分の承認、3つの議案が上程された。行政報告では、火葬炉の修理は21年度で修了し、22年度からは斎場の耐震化の調査

下田地区 消防組合議会

2月24日に定例会が開かれた。平成21年8月1日から平成22年1月31日までの事務報告では、火災発生が11件で下田市9件、河津町2件、南伊豆町0件、救急事案発生地区件数は、下田市905件、河津町258件、南伊豆町293件、（内325件は共立湊病院から転送搬送）ドクターヘリの運航状況は



運用を開始した消防本部通信司令室

64件であった。議案については、平成21年度補正予算（第3号）は歳入歳出5,000千円を減額し、総額790,154千円とする。平成22年度予算は歳入歳出それぞれ717,211千円とし、前年度より22,691千円減額となった。その他専決処分の承認他議案5件の審議を行い原案可決した。その他通信指令設備工事は（株）富士通と7,318万円で契約し22年4月1日運用開始した。

等に取りくむ。

専第1号で21年度会計補正予算（第3号）について、専決処分の承認が上程され可決した。議案1号で「県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更について」を承認。議案2号で「監査委

員の選任」が行われ、下田市の土屋國芳氏を選任。議案3号で「平成22年度伊豆斎場組合会計予算」が上程され、歳入、歳出それぞれ41,615千円を承認可決した。市町負担金が前年度より、4,683千円増加する。

東河環境センター 議会

2月18日、東河環境センター議会が開かれた。議案第1号では、静岡県市町総合事務組合を組織する、地方公共団体の数の減少及び

規約変更について、議案第2号では、平成21年度東河環境センター会計補正予算（第3号）について、議案第3号では、平成22年度東河環境センター会計予算について、それぞれ審議し、原案可決承認した。平成22

年度東河環境センター会計予算については、歳入歳出とも、651,337千円、河津町の負担額は、し尿処理分、24,957千円、ごみ処理分が、199,423千円、合計224,380千円である。

中国国際交流訪問調査報告



東山鎮政府庁舎での意見交換会

1月22日～25日富士山静岡空港を利用し、町より岸副町長、渡辺産業振興課長、議会より相馬議長、萩原副議長、宮崎議員計5名で訪問した。

21年10月議会議員団が「中国蘇州市東山鎮」を訪問した際、熱烈な歓迎を受けると共に又、河津町と気候、特産品等が共通する点が多く、友好的交流を望んでいることから調査訪問をした。

東山鎮は上海より高速道路で約2時間行った地で有名な「大湖」に面した街である。1月23日、東山鎮政府庁舎にて党書記、町長、副町長、議長、課長、担当者との意見交換を行い、又現地を案内してもらった。当

日は現地東山鎮泊として河津町主催の晩餐会でさらなる意見交換を行った。

- 東山鎮書記の提案
- 農業交流としての技術交流
- 農産物の輸入や輸出
- 観光交流の可能性
- 河津町からの提案は
- 農業関係の技術交流
- 子供達の交流事業を協議した。

東山鎮の小学校は2校で児童数は合わせて3,000人とのこと、又農産物は柑橘、お茶、ビワ、山桃等を栽培している。

1月24日河津町のズガニ養殖の参考にと上海ガニの養殖場を視察したが規模の膨大さにびっくり、大湖で発生する稚ガニを捕り養殖池で段階的に養殖している。

今回の調査は中国共産党を中心とした行政組織との会見であったため農業者、民間企業、教育関係者との交流が出来なかったため十分な実態を掴むことが出来なかった。今後は中国側からの来町を期待して慎重な判断での交流事業とすることが重要と思われる。



東山中心小学、児童数は1,500人



山田 勇 議長

議長の諸般の報告と
議会の動き

平成21年

12月25日 11月分例月出納
検査結果報告書
を受ける

平成22年

1月5日 河津町消防団出
初式
(南小体育館)

1月10日 河津町成人式
(河津中体育館)

1月13日 河津町議会第1
回臨時会

1月15日 第24回国文祭河
津町実行委員会、
(文化の家) 同
日、河津町産業
経済活性化連絡
協議会新年賀詞
交歓会
(バガテル公園)

1月22日～25日 国際交流
調査のため中国
蘇州市東山鎮へ

1月26日 河津町議会第2
回臨時会、同日、
力石、桜うどん
完成披露会
(谷津)

1月29日 東伊豆町議会と
の議員交流会
(東伊豆町)

2月1日 河津桜観光交流
館落成式

2月2日 賀茂郡町議会議
長会(下田市)

2月6日 第20回河津桜ま
つりオープニ
ングイベント

2月16日 河津町議会第3
回臨時会、新議
長に山田勇選出

2月17日 静岡県町議会議
長会(静岡市)

2月26日 河津駅前広場管
理運営協議会

3月4日 議会運営委員会、
同日、議会広報
編集特別委員会

～私も一言～

歴史ある河津の花づくり

河津の花栽培の歴史は古く、昭和6年、花菖蒲を初めに、カーネーション、菊、バラと多くの花きが栽培され、温暖な気候と東京市場に近いという地の利を生かして発展し、先人たちの情熱と高い技術力により、多くの人達が花の生産に携わってきました。

現在でも「花の町河津」として、バガテル公園、花菖蒲園、カーネーション見本園と多くの施設が運営されており、町づくりの一環として取り込まれた中で、



生産者として花市場においても、全国的にも「河津の花」をアピールして継続発展させていく責任を感じて生産に努力していきたいと思ひます。

又、4年後には全国カーネーション生産者静岡大会が、河津と稲取を会場に開催予定となりました。全国に向けて「花の町」を発信できる良い機会だと思いますので皆様のご協力をお願いします。

河津花卉園芸組合
組合長 杉井一夫

編集後記

河津桜は新緑でいっぱい。山々の桜は花いっぱいである。3月は別れの月。そして4月は出会の月。東小学校の卒業式に参列し、もらい泣きの涙、西小学校、南小学校も同じだったろう。

4月は新たな出会の時、多くの友達をつくるだろう。又町は新しい町長のもとでの街づくり、いつまでも夢を持ちつづけたい。

(萩原)